

# KANTOU

かんとう



■ 関東商組新年会

■ 全原連新年会

特集 / 「インボイス制度」の講演

■ 支部だより—東京都西支部

春号

# 全国小中学生 紙リサイクルコンテスト 2023

(主催 公益財団法人古紙再生促進センター)



文部科学大臣賞 ポスター部門

小林聖心女子学院中学校 3年

山縣 志帆

紙資源～おかえり『ただいま』～



## 巻 頭 言

2024年度が始まり考えられる問題が数多くある。円安ドル高の中、日経平均株価がバブル経済時の最高値を超えて4万円台へ入っています。バブル期の1991年に当時のウォークマンにオープンしたディスコのジュリアナ東京で女性達が踊る映像や男たちが酔いしれ

る姿、それから株価は下落へ一直線でデフレスパイラル起こして失われた30年。ゼロ金利政策、デフレ脱却への道しるべ、そして大会社の資産健全化の長い道のりが、今ようやく外国人の投資家に評価され、新NISAの開始とあいまってバブルでない資産価値に相応した価格だと株屋さんは言っております。昔から株の価格は直近将来値と言われております。期待しましょう。

そんな中、遠隔地と空間を使った「オレオレ詐欺」から始まった劇場型詐欺「ルフィ強盗」、SNSを使った「経済詐欺」、「ロマンス詐欺」、「時計シェアー」さらには見えないデジタルのビットコイン等「時空」を使った犯罪が多くなりました。世界ではロシアとウクライナの戦争、イスラエルとハマスの戦争、スエズ運河の運行問題、日本の防衛問題と焦眉の急な問題が山積する中、国会は自民党の裏金問題にかまけている。物価と賃金、国民の安心と安全も検討してもらいたい。

さて、2023年の製紙産業は生産、出荷とも2年連続で前年を下回りました。その為、製紙各社は需要構造に合わせた生産体制に転換しなが

### 支えあい～製紙工場とともに 歩んできた60年に思う～

関東製紙原料直納商工組合

理事長

大久保 信隆

ら環境及び社会ニーズに対応した持続可能な社会形成への貢献が出来る体制づくりに取り組んでいると聞いております。

古紙は紙の生産が減り、発生は年を追うごとに減少している。板紙はコロナによる買い控えとインバウンド需要も期待されたほど伸びておらず板紙

の需要拡大に今ひとつの状況である。

23年は古紙の輸出量が22年より多かったため需給バランスが取れた1年でしたが、数量は393千トン増えたが、金額は22年の532億円に対し、23年は479億円と約53億円少なくなっている。時の相場もあります数量が伸びたのに金額が減ったことを厳しく受け止める必要があります。今年はこのことを絶えず考えて業界の売上金額を確保することが重要と思います。

私的なことで恐縮ですが、今年を卒業して60年になりますが、レンゴー八潮工場も一緒です。この度工場のオフィス棟が竣工されます。その際には古紙納入業者「八潮会」が竣工記念を贈りたいと申し入れたところ5.5メートルの高さの時計塔になりました。その際発表されたモチーフが工場と納入業者会が「共に生き、成長し、支えあってきた」と聞いて感激して、感無量で一晩中60年を振り返っていました。関東商組のメンバーは製紙工場と共に歩み、そして共に発展してきたと思います。今後も原料供給者として持続的に連帯感を持ち、使い易いよい原料作りに邁進していきましょう。

(2024年3月8日 記)

# 関東商組 理事会報告

## 令和5年度 第7回 理事会報告

開催：令和5年12月22日（金）  
 15：00～16：45  
 於 組合会議室  
 出席状況：出席…21名（理事19名 監事2名）

1. 古紙持ち去り関係  
GPS 追跡調査実施状況  
正規ルート2件。（11月理事会から本理事会の間）  
（記載一部省略）
2. 各支部市況報告  
（記載省略）
3. 段ボール古紙需給調整事業の実施状況  
12月の台湾向け段ボール古紙の出荷先が提示され、協力をお願いした。  
本事業は12月で終了となる。
4. 組合員の脱退申込みへの対応  
株式会社タカハラの本年度末での脱退が承認された。
5. 物流の2024年問題に関する最終とりまとめ

とりまとめを基に日資連と協議していくことが承認された。

6. 各会議報告
  - (1) 総務財務委員会（12月14日開催）  
11月末の収支はバランスがとれている。
  - (2) 正副理事長会（12月14日開催）
  - (3) 総合運営委員会（12月14日開催）
7. 近代化推進委員会報告
  - (1) 経営革新委員会（12月12日開催）
    - ・古紙リサイクルアドバイザー試験、品質管理責任者の試験問題について現状にそぐわないものを抽出した。
    - ・2023年十大ニュース選定を行った。悪いニュースが多く今年の業界を象徴、順位選定は行わない。
  - (2) 安全防災委員会  
安全衛生推進者養成講座の申し込みを終了した。  
リチウムイオン電池による火災が増えているので一層の注意を促した。
  - (3) 需給委員会（11月28日開催）
    - ・国際マーケット調査事業再開に向けて現

.....

## かんとう No.224 目次

編集人の後記	三紙会TWEET	支部だより 東京都西支部	集団回収感謝状贈呈式	特集 「インボイス制度」の講演	全原連 新年会	関東商組 新年会	三紙会定例会報告	理事会報告	巻頭言
24	24	21	20	16	12	8	6	2	1

.....



表紙写真

静岡県賀茂郡河津町は2月に咲く河津桜の発祥地。川べりの両側に満開の桜が850本連なり、辺りの桜も合わせると8000本の早春の桜が観光客の目を和ませ、2月末まで1ヶ月もの期間、賑わいます。

淡いソメイヨシノより、目を引く濃いピンク色が美しく鮮やかです。

渉外広報・IT委員会 相談役 須長利行

在看積もり合わせに参加している商社 8 社へ、引き続き協力していただけるかのアンケートを実施、7 社が引き続き参加すると申し出た。12 月の委員会で見積もり合わせを提出してもらうように各社へ発信。1 月積みから実施するべく準備をしていく。

- ・発生減が続き在庫も少ない中、高値を下げてきていない地域が多い。年末年始に例年よりも長めの休転を予定しているメーカーも多く、一時的に在庫が増える可能性が高い。

#### (4) 三紙会 (11 月 25 日開催)

	11 月	
	前月比	前年比
段ボール	99.6%	98.4%
新聞	97.8%	89.7%
雑誌	98.5%	95.6%

#### (5) 渉外広報・IT 委員会

かんとう編集部会 (12 月 7 日開催)  
かんとう 223 号の校正会議、224 号の企画会議を行った。223 号は 1/20 に発行予定。

#### 8. その他

- (1) 事務局員の異動 (中尾有慶の退職 令和 5 年 12 月 31 日付)
- (2) 事務局年末・年始休暇  
2023 年 12 月 29 日 (金) ~ 2024 年 1 月 4 日 (木)  
緊急時は富所まで (090-2326-7264)

#### 各種統計資料

1. 関東商組 32 社古紙在庫月別報告書 (2023 年 11 月)
2. 全原連 各地区古紙在庫月別報告書 (2023 年 10・11 月)
3. 国内における段ボール古紙量の月別増減表 (2023 年 10 月)
4. 財務貿易統計 古紙輸出まとめ (2023 年 10 月)
5. 日立・千葉・東京・川崎・横浜合計通関実績 (2023 年 10 月)
6. 日本製紙連合会 紙・板紙需給速報 (2023

年 11 月)

7. 日本製紙連合会 紙・板紙品種別生産・出荷・在庫高表 [暫定] (2023 年 11 月)

◎次回開催 令和 6 年 2 月 22 日 (木) 15:00 ~  
場所 組合会議室

### 令和 5 年度 第 8 回 理事会報告

開 催：令和 6 年 2 月 22 日 (木)

15:00 ~ 16:10

於 組合会議室

出席状況：出席…21 名 (理事 19 名、監事 2 名)

#### 1. 古紙持ち去り関係

##### (1) GPS 追跡調査実施状況

正規ルート 2 件。(12 月理事会から本理事会の間)

##### (2) 令和 6 年度 GPS 追跡調査に関する方針

現状の運用方法にて実施する。

なお、持ち去り禁止法令の制定・施行後は再検討する。

#### 2. 各支部市況報告

(記載省略)

#### 3. 次期役員改選に伴う役員候補

##### (1) 関東商組

地域別役員候補被推薦者名簿の通り承認された。被推薦者は役員候補推薦承諾書を 3/8 までに提出することが決定した。

##### (2) 全原連 (関東商組分)

役員候補者名簿の通り承認された。

#### 4. 需給安定基金の支給

需給安定基金加入組合員へ「物流の 2024 年問題」への準備及び対策に係る支援金を 3/22 に支給することが承認された。

#### 5. TAMA-3R フォーラムへの協賛

例年通り協賛することが決定した。(1 口 1 万円)

#### 6. 各会議報告

##### (1) 総務財務委員会 (2 月 15 日開催)

今期の収支見込を確認した。

- (2) 正副理事長会 (2月15日開催)
- (3) 総合運営委員会 (2月15日開催)

7. 近代化推進委員会報告

- (1) 経営革新委員会 (1月12日・2月13日開催)
  - ・古紙リサイクルアドバイザー及び品質管理責任者の試験問題について全原連の委員会と連携して秋には新テストを完成させる。
  - ・次年度の委員会計画として古紙リサイクルアドバイザーのシステム運用を構築する。11月研修会を予定している。
- (2) 安全防災委員会
  - 3月に2日に分けて安全衛生推進者養成講座を開催する。
- (3) 需給委員会 (12月20日・1月24日開催)
  - ・見積もり合わせは1月段ボールについては台湾向け、2月段ボールはベトナム向けで成立した。
  - ・発生減が続き、年末年始に増えた在庫はすぐにランニングとなった地域が多い。
- (4) 三紙会 (1月30日開催)

- (5) 渉外広報・IT委員会
  - IT活用部会 (2月1日開催)
  - ホームページリニューアル以降の必要なコンテンツの確認を行った。更新が滞っているコンテンツと解消方法の確認をした。

8. その他

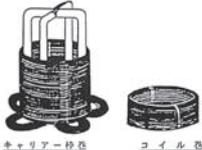
- (1) ヤード内における災害 (火災) 情報
- (2) 各種統計資料
  1. 関東商組 32社古紙在庫月別報告書 (2023年12月・2024年1月)
  2. 全原連 各地区古紙在庫月別報告書 (2023年12月・2024年1月)
  3. 財務貿易統計 古紙輸出まとめ (2023年11・12月)
  4. 日立・千葉・東京・川崎・横浜合計通関実績 (2023年12月)
  5. 日本製紙連合会 紙・板紙需給速報 (2023年12月・2024年1月)
  6. 日本製紙連合会 紙・板紙品種別生産・出荷・在庫高表 [暫定] (2023年12月・2024年1月)

◎次回開催 令和6年3月27日 (水) 15:00～  
場所 組合会議室

	12月	
	前月比	前年比
段ボール	112.2%	98.1%
新聞	110.0%	89.8%
雑誌	118.8%	97.1%

	1月	
	前月比	前年比
段ボール	84.6%	99.3%
新聞	86.1%	90.5%
雑誌	87.7%	97.3%

二十一世紀の環境を守る。  
信頼のパートナー。  
古紙用ベラー番線。



最良の品質  
 豊富な在庫  
 万全なサービス

株式会社 櫻井  
<http://www.kk-sakurai.com/>  
 〒116-0014 東京都荒川区東日暮里4-13-12  
 TEL 03-3803-3511  
 FAX 03-3807-8153

標準値	コイル 1巻	コイル 1巻	1打・1巻	1打・1巻
φ12 25%	50	100	500	1,000
φ10 32%	50	100	500	1,000
φ8 40%	50	100	500	1,000

# ベラー番線

**最良の品質・防錆OK**  
 ートラブル、ロスが少ない  
 50K・100K・500K・1000K  
**坂野興業株式会社**

東京本社 TEL03-3718-7311 FAX03-3724-8170  
 浦安営業所 TEL0473-54-6531 FAX0473-51-5201  
 静岡営業所 TEL054-624-1101 FAX054-624-6704

# 三紙会報告

## 令和5年度 12月 定例会

日 時：令和5年12月21日(木)

15時30分～17時00分

場 所：関東製紙原料直納商工組合 会議室

幹 事：斎藤 元司・(株)斎藤英次商店

井出 一之・井出紙業(株)

報告者：井出 一之・井出紙業(株)

### 【令和5年11月

#### 裾物主要三品仕入実績報告 (34社)】

[段ボール] 前月比 99.6% 前年比 98.4%

[新聞] 前月比 97.8% 前年比 89.7%

[雑誌] 前月比 98.5% 前年比 95.6%

### 【ブロック別仕入平均単価報告】

#### ○各地区発表

平均単価：段ボール…9.60円、新聞…11.79円、

雑誌…4.57円

[総括] 仕入価格に大きな変化はないが、一部では高値も散見される。

### 【各委員会活動報告】

#### ●業務委員会：

##### (1) パルプ市況報告 (11月積み)

[NBKP] \$ 価格 870 前月比 +30

[LBKP] \$ 価格 695～745 前月比 +30

[総括] 中国マーケット、欧米マーケットともに価格が上昇している。ただし、中国マーケットでは5月以降LBKPを中心に動いていた上昇ベースに勢いが見られなくなってきた。これまで需要を牽引していた家庭紙メーカーにおいても稼働率が下がり始めている。それでも、依然として一定の需要は見られる模様。

欧米マーケットにおいても需要そのものの盛り上がりは見られないが、中国マーケットと比較するとネット価格のレベルに差があることから、サプライヤーは値上げに取り組んでいる。

〈NBKP〉2か月連続の値上げとなった。直近、足元の中国マーケットでは輸入価格は上昇したが、上海先物市場やトレーダーによる在庫販売価格は軟化している。また、北米などではチップ不足等による生産調整が続いているが、北欧サプライヤーの新工場稼働による供給増があり、次月以降は“横ばい”あるいは“少し弱含み”で推移すると思われる。

〈LBKP〉3ヶ月連続で価格が上昇した。中国では10月下旬以降、中小家庭紙メーカーの稼働率が下がり始めており、需要の盛り上がりを感じられない。NBKP同様、トレーダーによる在庫販売価格は軟化傾向となっている。一方、サプライヤーサイドはメンテナンスシャットダウンや生産トラブルによる生産減、在庫減という状況にあり、これまでの受注残も抱えていることから、さらに値上げしたい考えがある。需給バランス、価格動向には引き続き注視していく必要がある。

#### (2) 上物古紙市況報告

[家庭紙] 消費マインドの落ち込みやパルプ物・輸入品のシェア拡大により、古紙物の動きは低調に推移。一方、景気の鈍化により大きく操業を止める印刷・製本工場が多く、産業古紙の発生は大幅に減少しており、生産動向に関係なくタイト感が継続すると考えられる。

[白板] 一部高級板紙の生産減があり、表下に使用する原料の需要が緩む可能性あり。しかしながら家庭紙同様、産業古紙の発生減が顕著であるため、大きな余剰にはならないと思われる。

[総括] 1～10月の紙・板紙の生産統計が発表され、前年同月比で▲7.3%となった。洋紙の生産減は相変わらずだが、板紙の生産減が大きく影響する形となった。パッケージの減少

は、①食品ロス対策 ②通販の伸び悩み ③人口の減少などが考えられ、インバウンド需要でどこまで補えるか?もカギとなる。

生産減に伴い回収量も前年同月比で▲3.8%となっており、古紙業者間の過当競争が懸念される。

- 研究委員会：① 2023 年 12 月度の新聞・チラシ重量調査の協力依頼
- ② 2024 年 3 月 移動委員会に関する説明
- その他：裾物三品仕入実績表 フォーム変更に伴う仕様説明

次回の三紙会は【1月30日(火)15時30分～】とする。活動内容の予定は以下の通り。

- 裾物三品仕入実績報告
- ブロック別仕入平均単価報告
- 各委員会報告

※定例会後に17:30より忘年会を中国料亭「翠鳳」で実施した。

### 令和6年度 1月 定例会

日 時：令和6年1月30日(火)  
 15時30分～17時00分  
 場 所：関東製紙原料直納商工組合 会議室  
 幹 事：後藤 和則・(株)高岡  
 木ノ下 知宏・(株)須賀  
 報告者：後藤 和則・(株)高岡

#### 【令和5年12月

##### 裾物主要三品仕入実績報告 (34社)】

[段ボール] 前月比 112.2% 前年比 98.1%  
 [新聞] 前月比 110.0% 前年比 89.8%  
 [雑誌] 前月比 118.8% 前年比 97.1%  
 [総括] 3品とも平均単価は、ほぼ前月横ばい。段ボール・新聞の高値仕入が見受けられる。

#### 【ブロック別仕入平均単価報告】

○各地区発表

平均単価：段ボール…9.63円、新聞…11.80円、雑誌…4.68円

#### 【各委員会活動報告】

●業務委員会：

(1) パルプ市況報告

[NBKP] \$ 価格 870 前月比 ±0

[LBKP] \$ 価格 715~765 前月比 ±20

(2) 上物古紙市況報告

[家庭紙] インバウンド需要により駅やホテル、商業施設でのトイレットペーパーの消費は増えているものの、消費マインドの落ち込みで家庭向けが伸びず、また輸入品の増加やエアタオル使用の回復などによりペーパータオルも含めて製品の動きは良くない状況。一方で印刷・製本工場からの産業古紙の発生は大幅に減少しており、生産動向に関係なくタイト感は継続している。

[白板] インバウンド需要や旅行・イベント再開の人流増加によるお土産品・弁当などの販売増が、白板製品の需要増加にリンクしていない状況であり各社減産基調。しかしながら家庭紙同様、産業古紙の発生減が顕著であるため、原料に関しては大きな余剰にはならないと考える。

[総括] 2024年の紙・板紙の国内内需は、前年見込みに比べて3.1%減少するとの見通しが発表された。

3年連続のマイナスとなる。紙は6.5%の減少。書籍や雑誌、広告物でネット媒体へのシフトが一段と進むと見られ。オフィスのペーパーレス化や政府のデジタル化推進の影響も大きい。板紙は需要の大半を占める段原紙が0.2%の増、白板が0.6%の減で、板紙全体では微減を予測している。

●研究委員会：2023年12月実施の「新聞・チラシ重量調査」の報告

次回の三紙会は【2月20日(火)15時30分～】とする。活動内容の予定は以下の通り。

- 裾物三品仕入平均単価報告
- ブロック別仕入平均単価報告
- 各委員会活動報告

## 令和6年度 2月 定例会

日 時：令和6年2月20日(火)

15時30分～17時00分

場 所：関東製紙原料直納商工組合 会議室

幹 事：富澤 進一・(株)富澤

佐々木 健・栗原紙材(株)

報告者：川嶋 秀明・(株)ナコジ

### 【令和6年1月

#### 裾物主要三品仕入実績報告 (34社)】

[段ボール] 前月比 84.6% 前年比 99.3%

[新聞] 前月比 86.1% 前年比 90.5%

[雑誌] 前月比 87.7% 前年比 97.3%

[総括] 3品とも前年比割れで発生減少が続いている。

#### 【ブロック別仕入平均単価報告】

○各地区発表

平均単価：段ボール…9.06円、新聞…11.88円、  
雑誌…4.71円

#### 【各委員会活動報告】

●業務委員会：

(1) パルプ市況報告

報告なし

(2) 上物市況報告

[家庭紙] 大王製紙が4月1日出荷分から10%以上の値上げを発表したのに続き、王子ネピア・日本製紙クレシアも4月22日出荷分から5～10%以上の値上げを打ち出した。2024年問題を背景にした値上げと見られ、パルプ物の値上げは再生品値上げの追い風になると推測する。

[白板] インバウンド増を含めた人流増加を背景

に、化粧品・医薬品向けはまだ良いものの、ティッシュペーパーのソフトパック化などの需要減が大きく影響しており、引き続き各社減産基調。しかしながら家庭紙同様、産業古紙の発生減が顕著であるため、原料に関しては余剰にはならないと考える。

[総括] グラフィック用紙の内需は、情報手段の多様化やデジタル化などの構造的要因により減少が続いており、2023年は価格改定の影響もあって、新聞用紙・塗工紙・情報用紙とも前年を大きく下回った。2024年も情報・広告分野を中心にデジタル化の加速などによりマイナスを予想している。

先日、日経産業新聞が3月末での休刊が発表された。ここ数年は雑誌の休刊も相次いでおり、製品出荷減→回収量の減が顕著となっている。

●広報委員会：2月26日(月) 広報委員会開催予定

●研究委員会：3月新聞・チラシ重量調査依頼

●財務委員会：季節変動係数算出依頼

●その他

・会員の交代あり、栗原紙材(株) 佐々木健氏より岩崎達弥氏へ変更

・令和6年度の総会 4月30日開催予定

次回の三紙会は【3月27日(水)～28日(木)於：石和温泉】とする。活動内容の予定は以下の通り。

○裾物三品仕入実績報告

○ブロック別仕入平均単価報告

○各委員会報告





● 関東製紙原料直納商工組合 新年会

# 発生減少、物流、持ち去り …課題は山積みだが、 一致団結して乗り切ろう

寄稿  
株式会社 紙業タイムス社

関東製紙原料直納商工組合（以下、「関東商組」）は去る1月18日、東京・荒川区のアートホテル日暮里にて新年会を開催した。新型コロナウイルス感染症が5類に移行していることもあり、昨年に引き続き懇親会を含む通常開催となったが、元旦の能登半島地震で多くの犠牲者・被災者が出ている現実に鑑み、乾杯は行われなかった。

当日は来賓として、各界・各団体の代表らが約30名ほど招かれた。資源リサイクル推進議員連盟から松原仁・衆議院議員、葉梨康弘・衆

議院議員ほか、経産省製造産業局素材産業課から土屋博史課長ほか、さらに日本製紙連合会、古紙再生促進センター、東京都中小企業団体中央会など、関連団体の代表が一堂に会した。

アートホテル日暮里で開かれた関東商組の新年会式次第は開会の辞に始まり、理事長挨拶、来賓祝辞と続いて懇親会に移行、歓談が続く中、中締め、閉会の辞で締めくくられた。司会進行は齋藤大介副理事長。

以下、各氏の挨拶要旨を紹介する。



〔開会の辞〕 齋藤 米蔵・副理事長

〔開会の辞〕 齋藤 米蔵 副理事長

元旦から能登半島が大変なことになっています。被災に遭われた方々にお見舞いを申し上げます。

ますとともに、この場においては、コロナ禍などもありましたが、昨年に引き続きリアルで開催できたことは大きな喜びです。皆様方も、この時間は和やかに過ごしていただきますようお願いして、開会の辞とさせていただきます。

\*

〔理事長挨拶〕 大久保 信隆 理事長

日本製紙連合会の発表によれば、2023年の生産量は紙が前年比△7.4%の1,044万t、板紙が同△6.5%の1,158万tで、ともにマイナスだった。紙・板紙生産の減少で古紙の発生量も年々減っているが、回収率は1～11月の累計で81.5%と高水準を保っている。また古紙の輸出は通年で前年を2割ほど上回る220万t強に達する



「日曜日は集団回収を全休にして労働時間を短縮し、雇用の安定を図りたい」と挨拶する大久保信隆理事長



〔来賓祝辞〕松原 仁・衆議院議員  
(資源リサイクル推進議連・事務局長)

見通しで、需給のバランスはうまく取れているのではないかと考えている。

今年はどうかという、段ボールについては全段連が+0.5%で142億㎡との予想を出している。段ボールは年々薄物化しているの、原紙の重量としては実質横ばい程度だろう。したがって段ボール古紙の発生が上向くことは、あまり期待できないのではないかと。紙・板紙の生産が年々減少傾向にある中、古紙の発生も減っている。

では、どうすればよいか。やはり適正な価格で仕入を行っていかねばならないと思う。限られた数量の中で適正利潤を確保し、課題である2024年物流問題への対応、すなわち労働時間の短縮と賃上げを実施して雇用の安定を図っていく必要がある。その意味でも私としては今後、日曜日は集団回収を全休にしたいと思っている。残業時間を少しでも減らせるよう、やっていきたい。

もう一つ、最近、リチウムイオン電池による火災が発生している。製紙会社や問屋のヤードで火災が出るというのは困った事態だ。異物の除去を徹底して行わないといけない。だから今年は選別強化を図る年にしたい。支部や各委員会で話し合っ、組合活動を実践していきたい。変革の時代に対応していくためには、組合員の協調が一番大切だと思う。今年も団結しながら頑張っていきましょう。

### 〔来賓祝辞〕松原 仁 衆議院議員 / 資源リサイクル推進議員連盟 事務局長

本来であれば、資源リサイクル推進議員連盟の甘利明会長がご挨拶をすべきところだが、海外出張につき出席できないため、事務局長である私が代理で挨拶をさせていただきます。

先ほどおっしゃられたように、元旦の午後に大きな震災が起きた。私も正月の4日から一昨日まで募金活動を行っていた。日本には助け合いの精神があるので短期間に義援金が集まり、目黒郵便局から赤十字に234万円を送金することができた。この場を借りて御礼申し上げる。

募金活動にもいろいろなドラマがあり、東京工業大へ行った時は、何と1人も募金をしてくれない。どうしてだろうと思っていたら、学生が寄ってきて「松原さん、これPayPayでできないの?」という。そうか、これからは箱にQRコードを書いておかないといけないんだなあ、と思ったりした。

こんな感じでテクノロジーは日々進化している。私たちリサイクル議連においても、新しいテクノロジーを入れていかなければならない。私たちは立場上、いつもさまざまな要望を受けている。昨今は古紙持ち去りの問題などもあり、これはワーキングチームを作って取り組んでいる。もう一つはシートベルトの問題。例えば公の清掃車は、公的作業をしている時にはシート

ベルトを着用しなくてもよいのだが、民間委託された清掃車だと着用しないとイケない。同じ作業をしているのだから、実態は同じ。だから同じ扱いにした方がよい。これは環境省と警察との話し合いになる。

何にせよ、一番大事なのは一致団結し結束して物事に当たることではないだろうか。今年も皆様の活躍を祈念いる。



〔来賓祝辞〕 土屋 博史・経産省素材産業課長  
（代読：西川 康文・素材産業課長補佐）

**土屋 博史 経済産業省製造産業局素材産業課長**（震災対応のため出席できず、西川 康文課長補佐が文書を代読）

紙業界は資源のリサイクルが早くから確立されている。昨今、古紙需給がタイトになってきているが、古紙業界の皆様が国内製紙メーカーへの供給を第一にしてくれているので、古紙の国内循環が保たれている。また被災地にも段ボールハウスや、トイレトーパーなどをいち早く供給していただいております、心より御礼申し上げます。

紙は2000年頃をピークに、内需は減少傾向にある。しかし近年は脱プラの流れもあり、バイオリファイナリー製品の開発も盛んになってきた。私たちがサポートするので皆様方におかれども、これをビジネスチャンスと捉え取り組んでいただきたい。

紙は持続可能な社会の実現に向けて努力してき

た産業だ。今、産業界ではGXが加速している。紙パルプにおいても専門家の知見などを借りながらブラッシュアップし、GX投資を通じてCO2削減などに取り組み産業競争力を高めていってほしい。



〔来賓祝辞〕 葉梨 康弘・衆議院議員  
（資源リサイクル推進議連・副幹事長）

**〔来賓祝辞〕 葉梨 康弘 衆議院議員 / 資源リサイクル推進議員連盟 副幹事長**

年初から心の痛むニュースが続いているが、日本国民一丸となって復興復旧に励み、最終的には「ああ、今年も悪くない年だった」と思えるように頑張っていかなければいけないと思っている。

日本の古紙リサイクルシステムは紛れもなく世界の最先端だ。私たちはこれを誇りに思っています。先ほど、松原事務局長からもお話があった古紙の持ち去り問題。これは日本の古紙リサイクルシステムという喉に刺さったトゲのようなものだと思う。これを取り除き、古紙リサイクルを日本における環境負荷低減のトップランナーとしていかなければならない。対策の中身については、もうすでにアイデアが出来ている。早期にワーキングチームを立ち上げ、春のうちに条文まで仕上げたい。問題は今の国会が荒れそうだということ。ただ幸い、この議員連盟は超党派であり、自民だけでなく野党の方々もおられる。野党にもご理解をいただき、この法律を平穏に成立まで持ち込めるようにしていきたい。



〔来賓祝辞〕 昇塚 清謙・古紙センター関東地区委員長



〔中締め〕 藤川 達郎・副理事長

### 〔来賓祝辞〕 昇塚 清謙 古紙再生促進センター関東地区委員会 委員長（王子エコマテリアル）

関東商組は昨年、設立 60 周年を迎える。人間で言えば還暦という一つの節目でもあり、今年は新たな 10 年の始まりの年だと考えている。

10 年ずつの区切りで考えると、ちょうど 30 年くらい前に古紙の回収が大きく増えていった。20 年前になると、古紙の回収が消費を上回るようになり、古紙輸出が増えた。10 年ほど前からは紙の消費が減り、それにつれて回収も減少した。近年はその減少がさらに進み、中国が古紙輸入を禁止したことで輸出先は東南アジア各地に分散している状況だ。

環境もまた 10 年ごとに変化していく。近年は SDGs など、環境意識がさらに高まっている。古紙を取り巻く環境だけでなく、いろいろなことをトータルに考えていかなくてはいけない時代だ。物流の 2024 年問題、人口減少による人手不足…課題は次々にやってくるが、古紙再生で事業を行っている者として、本年もこれらの課題に一丸となって取り組んでいきたい。

\*

### 〔中締め〕 藤川 達郎 副理事長

ご来席の皆様、本日は誠にありがとうございました。今年は元旦から 2 つの大きな出来事があった。そして 3 つ目の事故として、東京都製紙原料協同組合の上田理事長が足の指を骨折さ

れたという…本日はそんな中、ご出席いただいている。実に波乱の幕開けとなった。

本年は物流問題もいよいよ本格化し、人手不足に拍車がかかると思われる。諸問題が山積しているが、業界一同で頑張っていこう。

\*

### 〔閉会の辞〕 梶野 隆史 副理事長

皆様の地震の話題で今年 1 年は暗いのかなと思ったが、昨日は阪神淡路大震災の日で、私が前の会社を辞めるきっかけとなった。この地震以降は給料 6 割支給、かつ月に 1 回会社に来るなという風になったが、これが幸いして 3 月の地下鉄サリン事件に遭わずに済んだ。今回も決して悪いことばかりではないという事と、災い転じて福と成す 1 年になれば、と皆様に申し上げて閉会の挨拶とさせていただきます。



〔閉会の辞〕 梶野 隆史・副理事長



## 全国製紙原料商工組合連合会 新年会

古紙はサーキュラーエコノミーに  
多大な貢献、啓発用のリーフレットも  
作成

寄稿・株式会社紙業タイムス社

全国製紙原料商工組合連合会は1月25日、東京・台東区の浅草ビューホテルで新年会を開催した。

冒頭、開会の辞を石川喜一郎 副理事長（中部商組：石川マテリアル）が述べた後、栗原正雄 理事長（関東商組：栗原紙材）が挨拶。その後、来賓を代表して資源リサイクル推進議員連盟の松原仁 事務局長（衆議院議員）、松島みどり氏（衆議院議員）、葉梨康弘 副幹事長（衆議院議員）、日本製紙連合会の加来正年 会長（王子ホールディングス）、古紙再生促進センターの長谷川一郎 代表理事（レンゴー）、経済産業省製造産業局素材産業課の土屋博史 課長が登壇し、それぞれ祝辞を述べた。

その後の祝宴ではアトラクションとして、地元浅草の芸子衆による「新春の舞」が披露されるなどした。中締めは岩渕慶太 副理事長（九州商組：イワフチ）、閉会の辞は大久保信隆 副理事長（関東商組：大久保）が行い、和やかなうちに新年会は終了した。

以下、各氏の発言をピックアップする。

\*

〔開会の辞〕石川喜一郎 副理事長

サーキュラーエコノミーへ多大な貢献を果たしている古紙業界

去年は、いろいろな出来事があった。特にスポーツでは感動をいただき、希望をいただいた。今年は辰年。つまり、中日ドラゴンズを優勝させる——そういう方向にもっていきたい（笑）。

さて昨今は、環境意識が世界的に一段と高まってきている。それはSDGsとかサーキュラーエコノミー、カーボンニュートラルといった言葉に表れている。企業は、そうした環境重視の流れと無関係ではいられなくなった。

私たちの業界は、サーキュラーエコノミーという意味では多大な貢献をしている。その点をもっとPRしても

よいのではないだろうか。

先日も自治体の方と話をしたが、税金を使わなければサーキュラーエコノミーができないというわけでもないだろう。紙を燃やさず、すべてリサイクルする、そんなことができるようになればよいと思う。

古紙業界も今後、ますます進化していきたいと思っている。本年もよろしくお願い申し上げます。

\*

〔理事長挨拶〕栗原正雄 理事長

紙に書かれる文字や絵は、心安らかに日常を過ごすために欠かせないもの

今年は年初から厳しい幕開けとなった。元日の能登半島地震により、古紙業界でも北陸ブロックを中心に被害が伝えられている。引き続き状況の把握に努め、助け合いの手を差し伸べていけるようにしたいと思う。

紙の消費量は年々減っている。古紙も発生量の減少に歯止めがかからない。そうした状況下だが、全原連の取組みの一端を紹介する。

古紙業界におけるSDGsの取組みを市民の皆さんに知ってもらいたいとの思いから、われわれは昨年、啓蒙活動のためのリーフレットを作って1,200余の自治体に送った。

リーフレットは「資源になる紙」と「ならない紙」についてまとめたもので、初期分別の重要性について、より一層、正確な知識を身につけていただきたい——そんな思いから制作したものだ。



〔開会の辞〕石川喜一郎  
副理事長



「紙とそこに書かれる文字や絵は、私たちが心安らかに日常を過ごすために欠かせないもの」と挨拶する栗原正雄 理事長

われわれの当面の課題は、製紙原料にならない紙製容器包装の混入防止である。本年は経産省の支援のもと、この課題に取り組んでいく。

紙とそこに書かれる文字や絵は、私たちが心安らかに日常を過ごすために欠かせないものだ。世界中の人々に、もっと紙に親しんでほしいと思う。

最後に、本年が皆さま方にとって幸多き年となるよう祈念する。

\*

〔来賓祝辞〕 資源リサイクル推進議員連盟 松原 仁 事務局長  
(衆議院議員) / 今後も皆さまの商売繁盛に貢献していきたい

本来であれば資源リサイクル推進議員連盟会長の甘利衆議院議員がご挨拶すべきところだが、所要で海外出張中につき出席が叶わないので、代役として不十分ではあるが、私こと松原が事務局長という立場から一言ご挨拶を申し上げます。



〔来賓祝辞〕 松原 仁  
衆議院議員 (資源リサイクル推進議連・事務局長)

栗原理事長、先ほどは有用なお話を、どうもありがとうございます。栗原理事長が話されたように、資源リサイクルのレベルをさらに上げ、より純度・練度の高いものにしていく——これが本年一つ目の課題だと思う。

現在、全国各地・各家庭でさまざまなゴミ分別が行われているが、このレベルを一律に上げていくことで質の高いリサイクルができる。

紙は資源リサイクルが最も進んでいる分野である。日本はこの分野で世界の先頭を歩んでいるが、それをさらに追求していこうという理事長の言葉に感銘を受けた。

さて本年の二つ目の課題は現在、葉梨衆議院議員が中

心になって取り組んでいる古紙の持ち去り防止である。早急に法整備を進めいくつもりだが、どういう法体系、どういう理屈にすれば現行の法規と整合性がとれるのか、先般の総会においても議論し、資源リサイクル推進議員連盟でさらに詰めていくことになっている。

さて私がかねてより、日本は静脈産業を育てていくことが大切だと考えている。紙はすでに、そのモデルケースになっている。中国がレアメタルで資源外交をするなら、私たちはそれをリサイクルしていくことで競争力を高めたい。

しかし、こうした取組みは進取の気性に加え、業界の皆が一致団結していかないとできないことだ。リサイクル議連としては今後も甘利会長の指導のもと、古紙業界を発展させ、皆さまの商売繁盛に貢献していきたいと思っている。本年も何卒よろしくようお願い申し上げます。

\*

〔来賓祝辞〕 経済産業省 製造産業局 素材産業課 土屋博史 課長 / 能登半島地震に際しての迅速な物資提供に感謝

わが国の国内投資は今や100兆円規模となり、これは30年来の高い水準だ。成長と改革の道筋をしっかりとつけ、潮目に変化する中で必要な政策を持続・継続していく——政府一丸となって取り組んでいかねばならないと思っている。



〔来賓祝辞〕 土屋博史  
経済産業省 製造産業局  
素材産業課 課長

古紙リサイクルは、資源循環型社会の先行事例だ。先ほどのお話にもあったが、その質をさらに高めていくために尽力されていることは本当にありがたいし心強い。国民の分別意識を高めていくためのリーフレット作成など、こういう取組みは大切なことだと思う。

紙の業界の皆さまには、いつも必要な物資を安定供給していただいておりますが、このたびの令和6年能登半島地震においても、初動段階で迅速に物資の提供などに努められ、大変お世話になった。この場を借りて、改めて御礼を申し上げます。

さて、資源循環、カーボンニュートラル、GXなどはこれからも、政府として政策を進めていく。紙の業界も含め、分野別の投資戦略を用意している。国内の投資を促進するパッケージも準備が整っている。資源循環をさらに進めていくための、200を超える施策もある。ぜひ、

こうした仕組みを活用していただきたい。

また、2025年には大阪万博が開催される。昨年からチケットも販売されている。こうしたイベントもビジネスの活性化に寄与すると思うので、ぜひ皆さん積極的に活用してください。

\*

〔来賓祝辞〕日本製紙連合会 加来正年 会長（王子ホールディングス）／引き続き古紙の安定供給に努めてほしい

全原連の皆さまには常日頃、古紙の安定供給を通じて製紙産業の発展に寄与していただいていることに、改めて御礼を申し上げます。

さて、昨年はコロナが5類に移行し生活が正常化していく中で、コロナ後の社会の在り方を社会全体が模索した一年でもあった。

世界では米国が好景気に湧く中、中国、欧州などに停滞が見られ、ロシアとウクライナの戦争が予想以上に長期化、またイスラエルとパレスチナの関係悪化など、地政学上のリスクが顕在化した一年でもあった。

わが国においてはインバウンド需要の増加とともに、サービス業が緩やかに回復し始めた。また賃上げも進んでいることから、個人消費の伸びも期待できそうだ。

だが紙・板紙の生産量減少に伴い、古紙の発生減少が止まらない。今後、何か想定外の事態が生じた時には一転、古紙不足に陥る可能性も否定できない。

また製紙業界にとって、古紙の価格が安定しないのは“持続的”ではない。価格が不安定ではリサイクルシステムの維持強化も難しくなってしまうのでは、と危惧している。

製紙産業は2025年までに古紙利用率65%を目指していたが、すでに2022年の段階で66.3%と目標を達成している。ただし、これはグラフィック用紙の生産が大幅に減少し、古紙を多用する段ボール原紙などの割合が相対的に上昇した結果にすぎない。

古紙品質の劣化や原料として使用可能な古紙の発生減少を危惧しているが、全原連におかれては引き続き古紙の安定供給に努めていただけるよう、心よりお願い申し上げます。

\*

〔来賓祝辞〕古紙再生促進センター 長谷川一郎 代表理事（レンゴ）／古紙のリサイクルで世界から賞賛される日本にしていこう

私たち古紙再生促進センターは今年で創立50周年を迎える。この間、全原連の皆さまとは古紙回収率の向上、消費者の方々に対するリサイクルの啓蒙活動など、常に一体となって活動してきた。

現在、日本は古紙の回収率が82%、利用率が66%という世界最高レベルの古紙リサイクル社会になった。50年前の

古紙回収量は600万tで、41%の回収率だった。そこからどんどん上がっていき、2006年にはピークとなる2,300万tの古紙を回収できた。この時の回収率が71%である。

しかし、その後、古紙の回収量は減少傾向をたどっている。昨年は1,700万tで、回収率82%だった。この間、いろいろなことがあった。古紙は余った時もあれば足りない時もあったが、いつも全原連の皆さまと一体となって取り組んできた。今後も一段と協力関係を深め、リサイクルにおいて世界から賞賛される日本にしていこうではないか。

\*

〔来賓祝辞〕資源リサイクル推進議員連盟 松島みどり（衆議院議員）／税制優遇措置や助成金制度を有効に活用して

私は中小企業政策を20年以上、担当してきたので、本日は会場におられる皆さまの役に立つと思われる話を3つほどさせていただきます。

まず一つ目。中小企業はオーナー会社が圧倒的に多い。そしてオーナー会社が銀行からお金を借りる際には個人保証、つまり社長の家屋や土地などを担保に入れないと貸してく

れない。これでは真面目に事業を営んでいても、不幸にして倒れた時に大変なことになる。それで、この融資と個人保証の二つを切り離せるようにしたいと、そういう活動をしてきた。

昨年2月の予算委員会でも質問をさせていただき、金



〔来賓祝辞〕加来正年  
日本製紙連合会 会長



〔来賓祝辞〕長谷川一郎  
古紙再生促進センター  
代表理事



〔来賓祝辞〕松島みどり  
衆議院議員（資源リサイ  
クル推進議員連盟）

融庁が4月に通達を出した。その結果、2023年度の上期においては、新規融資の47%が個人保証なしに実現した。前年は33%だったので、約1.5倍近くに増えたことになる。だから皆さまも「個人保証の縛りは、もう解いてもらいたい、こんなことでは次の後継者にバトンタッチもできない」と、きちんと声を挙げてほしいと思う。

二つ目は人手不足の話。政府の今の取組みは、価格転嫁と賃上げである。先に自民党の税調で話し合っただけで、会社の総人件費が増えた場合、税の控除を行うというものだ。総人件費は、1人当たりの賃金が上がれば増えるし、雇用者数が増えても増える。今、赤字で税金を払っていないから関係ないという会社も中にはあるかもしれないが、最長5年間の繰り越しができるので、先行投資と思って賃上げや雇用拡大に取り組んでいただきたい。

最後に三つ目として中小企業庁の補助金について。中企庁では、さまざまな補助金を用意している。例えば新しい機械を導入すると、補助金が得られる。対象はいろいろあるので、ぜひ調べてみていただきたい。また本業であるリサイクル以外の事業を始めたいとか、そういう時のための補助金もある。年に複数回は補助金を申請できるので、ぜひ利用してください。

日本の優れた技術をぜひ諸外国にも伝えてほしいですし、逆に諸外国の優れた技術はどんどん取り入れて、ますます発展して行っていただきたい。

\*

**〔来賓祝辞〕 資源リサイクル推進議員連盟 葉梨康弘 副幹事長（衆議院議員）／古紙持ち去りの規制法案を今国会で成立させたい**

年初に大変な出来事があった。今、復興復旧の作業が行われているが、今年1年が終わる頃には「ああ、皆で頑張った年だったな」と思える年にしたい。

さて、今国会は大荒れになりそうだが、私たちは襟を正して政治不信を招かないように、しっかりした責任の取り方をしないといけないと思っている。

そうしないと、大事な法案が見送りになってしまうかもしれない。私どもリサイクル議連で議論してきた古紙の持ち去り問題。これを規制するための法案を今国会で



〔来賓祝辞〕 葉梨康弘  
衆議院議員（資源リサイクル推進議員連盟・副幹事長）



〔中締め〕 岩淵 啓太  
副理事長



〔閉会の辞〕 大久保信隆  
副理事長

成立させたいと思っている。これが進まなければ、国家の損失になる。法案の条文はほぼ出来上がっているし、そのためのプロジェクトチームも立ち上げた。日本国民のためになる法律だから、成立できないと困る。

幸い、私たちリサイクル議連は超党派の集まり。野党の先生方もいらっしゃるのと一緒に頑張っていきたいと思っている。

\*

**〔閉会の辞〕 大久保信隆 副理事長**

**働く人たちにとって、よい業界にしよう**

デジタルというすごいものが出てきて、紙の需要が減少している。しかし紙には固有の文化があることを忘れないでほしい。

私たち原料商は集めるのが仕事。原料商として、メーカーさんが「安心して使えるよ」というものをしっかり集めないといけない。

石川副理事長が先ほど、全部集めるようにするとおっしゃってました。メーカーさんに「全部使えるよ」と言ってもらえるようになりたい。

段ボールは100%の回収率で、輸出をしている状態。そうした中で中国が2020年に、「海外の古紙はいらないよ」と言ってきた。でも、ほかに欲しいところはあるのだから放っておけばよい。そういうリサーチをするために、古紙再生促進センターがある。

私たち古紙業界は長年、ブラック企業だと思われてきた。それで今後の取組みだが、今年からもう日曜日は受け取りをやめるようにしたい。1日くらい、安心して休める日を作るというのは経営者として、しなくてはならないことだ。物流の2024年問題というのは労働時間を少なくする、そういう課題だと思っている。働く人たちにとって、よい業界にしましょう。これをもって閉会の辞とさせていただきます。



# 特集 「インボイス制度」の講演

講師 東京国税局 藤原早紀 国税審査官

株式会社斎藤英次商店 花崎 留美

令和5年10月1日から始まったインボイス制度。戸惑いながら対応している日々ではないでしょうか。始まる前と始まった後では、疑問、悩みなど違うものになっているようです。

さて、令和6年1月18日アートホテル日暮里ラングウッドで、組合主催のインボイス制度講習会が開催されました。(20社40名弱参加)組合員の皆さんが、インボイス制度を理解し、より簡単に経理処理ができるようになればと考え特集しました。

## インボイス制度の概要

### インボイス制度とは

#### 〈売手側〉

売手である登録事業者は、買手である取引相手(課税事業者)から求められたときは、インボイスを交付しなければなりません(また、交付したインボイスの写しを保存しておく必要があります)。

#### 〈買手側〉

買手は仕入税額控除の適用を受けるために、原則として、取引相手(売手)である

登録事業者から交付を受けたインボイス(※)の保存等が必要となります。

(※)買手は、自らが作成した仕入明細書等のうち、一定の事項(インボイスに記載が必要な事項)が記載され取引相手の確認を受けたものを保存することで、仕入税額控除の適用を受けることもできます。

### 適格請求書(インボイス)とは

売手が買手に対して、正確な適用税率や消費税額等を伝えるものです。

具体的には、現行の「区分記載請求書」に「登録番号」、「適用税率」及び「消費税額等」の記載が追加された書類やデータをいいます。

## インボイス制度の講習内容

### ①インボイス制度の概要

- ・令和5年10月1日に開始された、複数税率の下で適正な課税を確保するための仕入税額控除の方式
- ・買手が仕入税額控除を受けるためには、一定

の記載事項を記載した帳簿のほか、売手からインボイスの交付が必要。売手がインボイス交付するためには事前に所轄の税務署に対しインボイスの適格請求書発行事業者登録を行い、登録番号を取得しなければならない。

## ②インボイスの記載事項・取引時の注意

- ・ (インボイス制度前) ①請求書発行者の氏名又は名称、②取引年月日、③取引の内容、④税率ごとに区分していた合計の対比の額(税込)、⑤軽減税率の対象品目である旨、⑥請求書受領者の氏名又は名称の記載  
(インボイス制度導入後) 上記に加えて、登録番号、適用税率、消費税額の記載
- ・ これまでは可能だった受領者(買手)による記載事項④・⑤の追記が不可に  
※記載事項に不備があった場合は、売手に再発行の依頼
- ・ インボイス登録事業者は買手の求めに応じて、インボイスの交付義務、写しの保存が義務化

- ・ インボイス記載事項は複数の書類(請求書と納品書等)に関連づけでも可能
- ・ 記載事項が満たされていれば書式(様式)や名称の定めなし 請求書、納品書、領収書、レシート等 手書きでの発行も可能
- ・ 不特定多数の者に対して販売する小売業、飲食店、タクシー業等に係る取引は簡易インボイスの発行が可能  
※通常インボイスとの違いは「消費税額と適用税率のいずれか一方の記載で良い」、「交付を受ける会社名の記載が不要」の2点

## ③売手の留意点

- インボイス発行事業者には、原則、以下の義務が課される。
- ・ 相手(買手)から交付を求められたら発行する義務
  - ・ 値引や返品など、対価の返還等を行う場合、返還インボイスを交付する義務(1万未満は交付不要)



- ・発行済みのインボイスの内容に修正がある場合、修正したインボイスを交付する義務
- ・交付したインボイスの写しの保存義務（内容がわかる場合は、全部コピー保存は不要）

#### ④買手の留意点

- ・再生資源取引の際、売手はインボイスの発行が必要だが、買手は帳簿のみ保存で仕入額控除が可能
- ・帳簿のみの保存場合は「課税仕入れの相手方の氏名又は名称・取引年月日・取引内容・対価の額」に加えて「課税仕入れ相手の住所又は所在地・特例の対象となる旨」を記載  
※ただし、公共交通機関特例の対象事業者に限り、帳簿に住所又は所在地の記載は不要。
- ・自動販売機・自動サービス機による課税仕入（自販機で会議の際に提供する飲料を購入した、など）、また使用の際に証票が回収される課税仕入（施設入場時に回収される入場券など）に対する特例が設定されている。（3万円未満の場合のみ）該当する仕入は帳簿に住所の記載が不要とする改正予定。
- ・免税事業者から課税仕入れにかかる経過措置（免税事業者から受領する区分記載請求書と同様の事項が記載された請求書の保存、経過措置の適用を受ける旨を記載した帳簿保存が必要）

#### ⑤税額計算方法等

- ・売上税額及び仕入税額の計算は「積上計算」または「割戻し計算」の選択可能  
積上計算：インボイスに記載がある消費税額を積み上げて計算  
割戻し計算：適用税率ごとの取引総額を割り戻して計算  
※売上税額の計算を「積上げ計算」にした場合は、仕入税額は「積上げ計算」のみ。  
売上税額の計算を「割戻し計算」にした場

合、仕入税額は「積上げ計算」「割戻し計算」のいずれかを選択可。

#### ⑥その他

- ・インボイス公表サイトでの登録番号の検索結果と、インボイスに記載された名称（屋号）が異なる場合でも、登録番号自体が有効であれば正しいインボイスとして仕入税額控除可能  
（例 領収証には〇〇スーパーと書かれていたが、公表サイト上で登録番号を検索したら××商事株式会社となっている場合）
- ・電子インボイスはECサイトのマイページなどで税法に定める保存期間、検索可能な形で随時確認できるような状態であれば、仕入税額控除のためにダウンロードしておく必要はない
- ・クレジットカード利用の場合は、クレジットカード利用明細書では仕入税額控除はできない。購入時の領収書等の保存で仕入税額控除が可能  
※ETCについては、クレジットカード利用明細書とダウンロードした利用証明書を合わせることで仕入額控除可能
- ・税務調査の運用については、軽微な記載不備を目的とした調査は実施しておらず、まずは制度の定着を図ることが重要であり柔軟に対応する

#### ⑦質疑応答

- Q.** インターネット上に登録番号の記載がある仕入先であっても、別途登録番号を入手しなければならない点は今後も変わらない？
- A.** インターネット上に記載されているインボイス番号は、個々の取引に明確に関連付けられているものではないので、適格請求書の記載事項としては認められない。

**Q.** 個人による古紙の持ち込みは住所不要となっているが、その認識で正しいか？

**A.** 再生資源の仕入はインボイス発行事業者かどうかに関係なく仕入税額控除となる特例に指定されており、住所を含め一定の事項を記載した帳簿のみで仕入税額控除が可能だが、その中でも個人（＝事業者以外）の場合は帳簿に住所を記載しなくてもよい。（個人事業主の場合はここでの「個人」ではなく法人扱いとなるため要注意。業として古紙回収を行っている者ではなく、一般家庭等からの持ち込みに対しての仕入支払。）

（参考：インボイス制度に関するQ & A 問110）

**Q.** 「帳簿のみの保存で仕入控除が認められる場合」として「適格請求書発行事業者でない者から再生資源及び再生部品の購入」との記載があるが、これは登録番号がない定期的取引のある事業者も対象としてよいか？

**A.** 上記の通り、仕入税額控除の特例に該当するため対象としてよい。

※定期的な取引の有無は仕入税額控除の可否に影響しない

**Q.** インボイス発行後に誤りがあった場合は、訂正できるか？またそれには期限があるか？

**A.** 訂正は可能で、その際は必ず修正したインボイスを交付すること。

訂正期限の定めはないが、訂正の結果納税額に影響が出る場合、更正申告の期限が元の申告から5年以内となる点には留意が必要。

## インボイス制度講習会の感想

インボイス制度が始まって数カ月経過しましたが、今回講習会に参加して、自社で正しい処理ができているのかどうかを見直すことができました。

日々の業務に追われる中で時間を作ってインボイス制度について知識を深める機会は今まで

なかったもので、今回の講習会に参加できたことを大変嬉しく思います。特に、国税局のご担当者様の生の声でインボイス制度の説明を頂けたことは貴重な経験でした。

具体例を挙げると、実務を行う上で消費税の計上方法の見直しやクレジットカード利用時の証憑保存が複雑な処理になっており、本当にこれで合っているかどうか不安でしたが、これらが正しい処理方法なのだと確認することができました。

また、自動販売機での飲料や回収されるチケット購入時のインボイス保存不要特例で、更に住所等の記載も不要となったことなど、最新の情報もご教授いただきました。

インボイス制度が始まり、社内フローが変更になった点が多数あります。その中で、処理を行っている自分自身でも処理が複雑でわかりにくいと感じる部分もありますし、社内で同じことを感じている人がいるということも耳にしております。今後は、自ら最新の情報を入手できるように努力するとともに、複雑になっている部分の改善を図り、インボイス制度に対応したスムーズな処理が行える環境作りをしていきたいと思っております。



〔講師〕 東京国税局 藤原早紀 国税審査官

# 公益財団法人 古紙センターが集団回収団体に感謝状を贈呈

## 関東商組が推薦する 13 団体が受賞

令和6年1月30日、浅草ビューホテルで、関東商組から推薦された集団回収の13団体が、古紙再生促進センターから感謝状と記念品を贈呈されました。

当日は、東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、群馬県、栃木県、茨城県の各支部長から推薦して頂いた13の団体を招き、古紙センターを代表して昇塚関東地区委員長が集団回収活動を労い祝辞と感謝を述べ贈呈式が開かれました。

また、13団体の中の1団体は集団回収特別活動賞<sup>※</sup>も授与されました。

受賞団体を代表して特別活動賞団体の相談役森田弘氏が活動内容の概略を説明し、謝辞を述べました。

受賞団体は自治会、学校、PTA など多彩です。特別活動賞団体は栃木県の小山市中小学校。森氏の説明では中小学校の「ほたる飛び交う中地区を目指す運動の会」は同校の近くの川に児童が育てた蛍の幼虫を放流し、もう一度蛍が飛び交う自然を復活させたいという児童の夢の実現のための費用に、集団回収を実施。PTA が主体となって、校内の回収場所に古紙を持ち寄り、



回収業者が年2回収集している、と述べました。

贈呈式の閉会に際し、関東商組・大久保理事長がお礼を込めて挨拶。「集団回収で集められた古紙はとても品質が良く、紙リサイクルに携わっている私どもにとって大変ありがたく思っております。集団回収はご家庭の皆さんの協力が前提で、その地域を取りまとめている団体の役員の皆様方の尽力に敬意を表する次第です。

古紙のリサイクルは、分別収集とその持続がとても大事です。今後とも集団回収を続けて頂きますようお願い申し上げます。」と謝辞。

※集団回収特別活動賞…集団回収で得た収益金の一部を公益・社会福祉の増進や教育などに活用し顕著な実績を残す活動団体に授与する賞。

(渉外広報・IT委員会 相談役 須長 利行 記)

**省エネパーラー誕生**  
**SW770 HEシリーズ**  
 HIGH SPEED, HIGH PRESSURE  
 AND ENERGY SAVING

契約電力DOWN!!  
 消費電力  
**25%**  
 以上削減!!  
 消費電力DOWN!!

**昭 和**  
 株式会社 昭 和  
 本社 〒134-0091 東京都江戸川区船堀2丁目23番21号  
<http://www.showa-press.co.jp> 電話 03-3689-0303

**WorkVision**  
 Creating Value for The Future

お問い合わせ先  
 ビジネスソリューション営業第一部  
 営業担当：梅崎 真由  
 TEL: 03-4233-0945 FAX: 03-5463-1138  
 \*旧社名 東芝ソリューション販売株式会社  
 2019年7月1日より社名変更となりました。

システムは「所有」から「利用」へ!

**リサイクルシステム  
 クラウド版リリース**

シンプルで  
即戦力!

セキュリティと  
災害に強い!

サーバ購入  
・管理不要!



## 東京都西支部

### 愛媛・広島 視察研修報告

三弘紙業(株) 吉住 英樹

[研修期間] 2023年12月6日(水)～12月8日(金)

[参加者] (株)平松商店 平松 邦明  
(支部長)

(株)國光 朝倉 行彦

(株)中田 中田 章

(株)小池商店 小池 茂男

(株)富澤 富澤 進一

(株)市川商店 市川 哲也

(株)工藤商店 島田 秀彦

井出紙業(株) 井出 一之

三弘紙業(株) 吉住 英樹

(敬称略・順不同) 計9名

東京都西支部では、ここ数年「世界遺産」や「異業種」を学ぶ事をテーマに研修旅行を実施してきましたが、今年も引き続き歴史的な土地や産業見学などを巡る旅となりました。

#### ① 12月6日(水)

早朝、羽田に集合し空路松山へ出発。

到着後早速バスで内子町へ。

内子町は江戸時代後期から明治時代にかけて木蠟(もくろう)の生産によって栄えた町で当時の面影が色濃く残っている街並みです。約600mの通りに伝統的な造りの町屋や豪商の屋敷が当時のまま軒を連ねており、タイムスリップし

たような情景をゆっくりと散策しました。



内子町・昔の商店風景

昼食は愛媛郷土料理の“鯛めし”や“さつま汁”を堪能し、昼食後はバスにて「日本で一番海に近い駅」と言われている下灘駅へ。



下灘駅にて

ホームの目の前がすぐに海という景観で、SNS映えするスポットには多くの若者が訪れ、我々も若者に交じり海をバックに写真撮影。その後バスは、瀬戸内海を望む海沿いを走り、松山城へ。

松山城は、松山市の中心部にある標高132mの城山(勝山)山頂に本丸があり、裾野に二之丸(二之丸史跡庭園)、三之丸(堀之内)がある、広大な平山城です。賤ヶ岳の合戦で有名な七本槍の一人、加藤嘉明が築き、日本で12か所しか残っていない「現存12天守」のうちの一つで、日本100名城にも選ばれています。



松山城の歴史を学ぶ参加者たち



松山城・急こう配の階段



松山城にて

高台にそびえ、攻守機能に優れ、連立天式天守を構えたとても美しいお城で、お城の中のかなり急こう配の階段をつたい天守閣まで登ると、城下に道後温泉や瀬戸内海を見下ろす眺望に感動しました。引き締まった黒をベースにした重厚感に溢れ、一見の価値があるお城でした。

お城見学の後、「坂の上の雲ミュージアム」を見学。有名な司馬遼太郎の著書「坂の上の雲」をテーマとした歴史博物館で、松山出身の秋山兄弟や正岡子規を始めその当時の歴史背景など

に関する資料が多数展示されています。小説を読んでいなくても順を追って学べ、松山城から坂の上の雲ミュージアムまでをセットで見学したことで戦国時代から明治、大正時代までの流れがよくわかり非常に有意義な時間を過ごせました。

初日の夜は松山市内の繁華街にて四国商組所属の(株)カネシロの小池社長と合流し、美味しい料理に舌鼓を打ちながら楽しい夜を過ごしました。

## ② 12月7日(木)

二日目は「エリエールカントリー松山」にて小池社長にも参加頂き、無事楽しくラウンドが出来ました。プレー後は高速ジェット船にて広島へ移動。中国商組所属の(株)岩本商店 岩本専務と合流しての懇親会で、2日目の夜も大いに盛り上がりました。サプライズゲストとして、九州商組所属の梅野商店(株)梅野社長にも同席して頂き、誠に有難うございました。



エリエールゴルフクラブ松山にて

## ③ 12月8日(金)

最終日は広島市内にある「マツダミュージアム」を見学。マツダミュージアムは、実際に自動車を組み立てている現場も見学出来る施設で、過去のレトロカーやルマン優勝車・未来のコンセプトカーなども多数展示されており、レトロカーの前では皆が当時の思い出話で盛り上がりました。

車好きでなくとも面白い展示が多数されていました。



マツダミュージアム・オート三輪

複数の車種が同じレーンで組み立てられ、約15時間で一台の新車が完成すると聞き、システムチックで効率的な作業内容に驚き、意外に短い時間で組み立てられるものだとの印象を受けました。

マツダ（株）が創業時のコルク製造会社から現在の自動車会社へと発展していく過程で、様々な時代の変化に対応してきた歴史と今後未来への展望がよくわかる施設でした。

見学後は、呉に移動。海軍カレーを食べ、大和ミュージアムと海上自衛隊 呉資料館（てつのくじら）を見学しました。

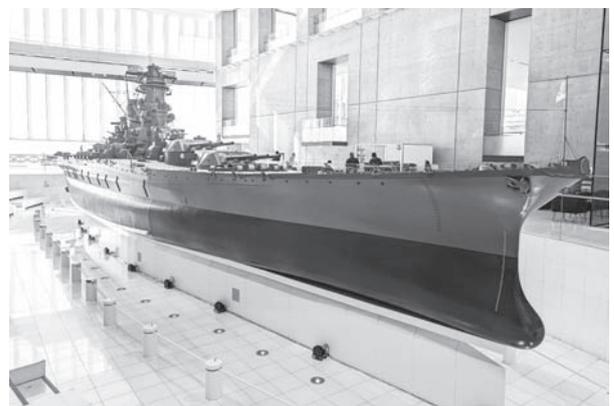
大和ミュージアムの館内に展示されていた“1/10スケールの戦艦大和”の模型は、かなり大きく圧巻でした。

戦前から戦後復興まで産業港として栄えた呉の歴史を学び、終戦間際に人間魚雷に乗り込んだ人たちの手記がとても印象に残りました。

松山での戦国時代から明治大正時代を経て、呉では戦前戦後の昭和から現在までと歴史を数



潜水艦の操舵室（てつのくじらにて）



戦艦大和（1/10スケールの模型）

珠繋ぎで学んだ研修となりました。

三日間の研修で色々な場所に伺い、色々なお話が出来た貴重な研修旅行でした。

尚、この度の研修旅行に際し、お忙しい中、快くご同席頂きました小池社長、岩本専務、梅野社長にはこの場をお借りし、改めて御礼申し上げます。また参加者の皆様には旅行中、大変お世話になり感謝申し上げます。ありがとうございました。

新聞雑誌選別、さらに革新。

紐切装置付選別コンベयरライン

ヤードスペースに合わせ、自由にレイアウト。

営業品目

- 各種破袋装置
- 古紙梱包機投入用コンベयर
- 空カン・空ビン選別コンベयरライン
- 各種シュレッダー投入用コンベयर
- 再生資源産業用各種コンベयर
- 各種省力機械設計・制作



株式会社 拓己 技研

〒444-0937 愛知県岡崎市島坂町字川田5番地3  
TEL (0564)64-3692 FAX (0564)64-3693

デジタルロードセル式トラックスケール

高精度・低価格・短納期 5t～100t 各種計量管理システム

鎌長製衡株式会社

<http://www.kamacho.co.jp>

- |       |                     |                  |
|-------|---------------------|------------------|
| 本社・工場 | TEL(087)845-1111(代) | FAX(087)845-7442 |
| 東京支店  | TEL(03)3243-2080(代) | FAX(03)3243-2081 |
| 大阪支店  | TEL(06)6339-0131(代) | FAX(06)6339-0139 |
| 名古屋支店 | TEL(052)586-1451(代) | FAX(052)586-1467 |
| 九州支店  | TEL(092)281-5328(代) | FAX(092)281-3822 |
| 中四国支店 | TEL(087)845-1140(代) | FAX(087)845-7442 |

# 三紙会 TWEET 一年生



株式会社 工藤商店  
島田 秀彦

今回のお題は「一年生」一年生にも色々あるが「小学一年生」「中学一年生」「高校一年生」「大学一年生」となり社会人になって一年未満が「一年生」で何かを始めて日が浅い者を「一年生」と呼びますね。私も還暦を過ぎ定年まであと少しなのでその後に、何かを始めるとなると

「一年生」になります。

さて小学一年生と言えばランドセルですね。今の形は日本でしか使われていないようですが元々は、オランダから日本にやって来た「ランセル」と言うバックパックが始まりの様です。「ランセル」がなまって「ランドセル」と呼ばれたようです。私の小学一年生の時、ランドセルの色は、男子は黒色で女子は赤色が主流でした。今やカラフルなランドセルが流行りだして色選びが大変になってきているのではないのでしょうか。ご両親やおじいちゃん、おばあちゃんに買ってもらう楽しみもありますね。「一年生」と言う言葉は変わりませんが時代は移り変わって来ています。

## の後記 編集人

紙リサイクルコンテスト2023の表彰式が行われました。私は、今回も学校教育の専門家が並ぶ最終審査員の末席に加わらせていただきました。

2023年は、作文775、ポスター2,468の作品が集まりました。作文とポスターが集められるのは、作文は、自分の意見を文章にして相手に伝えようとするのが求められ、ポスターは自分の意見を自由に構成して相手に伝えようとするのが求められているからです。

今回、ポスターの作品数が増えて、作文が減ったのですが、その背景は、絵画を学ぶ環境が増えていること、スマホの、お絵描きアプリ、イラストアプリが普及しているこ

とがあります。このような環境の変化が、小中学生の絵を描く水準を高め、文字から映像、写真、絵画などに表現を移しています。

表彰式では、この作品に取り組んだ経緯、作品の意図について、作者たちが壇上で述べていました。

作者たちは、コンクールに挑戦している。競い合い、入賞することを目指していると言っていました。また、紙が生まれ変わること、分別を正しくすること、自分が規則正しい生活をする、居住地域が規則正しい生活することなどが、作品に取り組む意義であると言っていました。

私が全国製紙原料商工組合連合 理事長賞に選んだのは、小学校1年生の描いたポスター、かみのまじっく！です。親子のペンギンがとても可愛らしく、お母さんペンギンが子供ペンギンに、トイレトペーパーの作り方を説明している絵です。本誌に掲載しています。ご覧ください。

(編集人/斎藤 大介)

# 全国小中学生 紙リサイクルコンテスト 2023

(主催 公益財団法人古紙再生促進センター)

ポスター小学生部門

金賞

札幌市立資生館小学校 4年

縄 乃々香

未来で花さく 紙のたね



ポスター中学生部門

金賞

加古川市立氷丘中学校 3年

太田 楓

紙リサイクルのしくみ



# 全国小中学生 紙リサイクルコンテスト 2023

(主催 公益財団法人古紙再生促進センター)

全国製紙原料商工組合連合会 理事長賞

特別  
金賞

古賀市立古賀東小学校 1年

大嶋 陽葵

かみのまじっく!

